

## ( 5 ) 定員管理の適正化

合併前の新庄町・當麻町においては、山積する行政課題に職員の英知を結集しながら、市民の福祉向上に果敢に取り組んでまいりました。

合併に当たり、新庄町、當麻町及び西葛城消防組合の職員を、すべて新市の職員として引き継いでまいりました。合併後の職員の退職に当たっては新規の職員の採用を見送り現在に至っています。

また、県内 1 2 市の人件費比率や職員 1 人当たり人口など、本市の置かれている現状の向上に努めるものとします。

今後の新規の行政需要の定員管理に当たっては、原則として職員の配置転換による対応とするなど、可能な限り定員の削減を行うなど定員管理の適正化に努めます。

適正な定員管理を推進するため、職種や部門ごとに事務事業を見直し、組織機構の簡素合理化、民間委託及び O A 化等を積極的に推進します。

地方分権の推進に伴い、簡素で効率的な行政対応となるような適正、妥当な職員配置に努めます。

なお、平成 2 3 年度までの計画として、退職者の補充につきましては事務職員の補充は退職者の 3 分の 2 の補充にとどめ、その他の職員につきましては、アルバイト等で対応することとし、合併年度から 7 年間で 9 . 5 %、職員数で 3 6 人を削減いたします。

また、現行の勸奨退職制度を活かし、職員の早期退職による人件費の削減と人事の活性化を図ってまいります。

定員適正化計画

年度	職員定数	職員数	嘱託職員数	合計職員数	定数との差	採用計画	前年退職者 (定年以外)	実削減数	影響額 (千円)
16年度	474	379	56	435	39	0	-	-	-
17年度	474	367	56	423	51	0	12(9)	-12	120,000
18年度	474	363	56	419	55	4	8(4)	-4	66,000
19年度	469	357	56	413	56	6	12	-6	99,000
20年度	464	355	56	411	53	5	7	-2	52,500
21年度	459	354	56	410	49	5	6	-1	42,500
22年度	454	354	56	410	44	5	5	0	32,500
23年度	449	343	56	399	50	5	16	-11	142,500
合計						30	66(13)	-36	555,000